

日本骨髄バンクの現状（平成 26 年 2 月末現在）

	1 月	2 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,562	2,506	443,129	606,118
患者登録者数	294	272	2,450	41,121
移植例数	120	111	—	16,640

■ 2 月の年齢別ドナー登録者数（現在数）

10 代	2,948 人
20 代	72,356 人
30 代	150,525 人
40 代	172,804 人
50 代	44,496 人

■ 2 月の 20 歳未満の登録者 197 人

注) 平成 24 年 7 月より集計方法が変わりました。

■ 2 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／1,102 人、献血併行型集団登録会／1,283 人、集団登録会／28 人、その他／93 人

■ 2 月末までの末梢血幹細胞移植 (PBSC T) 累計数：37 件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 消費税改正に伴う患者負担金（検査料）の改定について

平成 26 年 4 月 1 日から消費税率が 5% から 8% に改定されることに伴い、株式会社エスアールエルの検査料金が 3% 増額されます。このため、当法人は本年 4 月 1 日以降に実施する検査から患者負担金のうち、患者 HLA 確認検査料およびその他の検査料を値上げする予定です。ただし、一般血液検査（ドナースクリーニング検査）料は据え置きです。なお、調整料、手数料、ドナー団体傷害保険料等は変更ありません。

患者負担金の改定は 3 月 20 日に開催される理事会において正式に決定されます。詳細は、当法人ホームページ＞患者さんへ＞骨髄バンク利用料金＞患者負担金をご確認ください。

2 スマートフォンを通じた新たな募金システムがスタート

ソフトバンクモバイル株式会社による、スマートフォンを通じた新たな募金システム「かざして募金」が 3 月 5 日よりスタートしました。「かざして募金」は、骨髄バンクのポスターやチャンス、ギフト・オブ・ライフ等にスマートフォンをかざして画像を読み取り、日本骨髄バンクの募金サイトにアクセスすることで募金できる仕組みです。

ソフトバンクモバイルのユーザー約 3,000 万人のほか、NTT ドコモや au のユーザーも利用できます。寄付は 100 円から 10,000 円まで 6 つの希望金額から選択でき、毎月の継続寄付も可能です。

当法人以外の参加団体は、あしなが育英会、日本ユニセフ協会、国境なき医師団日本、東日本大震災復興支援財団など計 37 団体です。

「かざして募金」の詳細は、以下の URL よりご覧いただけます。

http://www.softbank.jp/corp/csr/donation/instance_01/

3 公式ホームページとドナーズネットがスマートフォンに対応しました

このたび、当法人の公式ホームページ（<http://www.jmdp.or.jp/>）とドナーズネット（<http://www.donorsnet.jp/>）がスマートフォン対応になりました。

どの画面もスマートフォンの専用ページをご用意しています。スマートフォンをお持ちの方はぜひ、アクセスしてみてください。

4 4月以降の当法人の委員会の体制および業務について

このたびの法施行に伴い本年4月より、骨髄バンク・さい帯血バンクに共通する事項は骨髄バンクが設置する委員会にさい帯血バンク・移植の関係者が参加し協議していくことになりました。該当する委員会は次のとおりです。

- 医療委員会
- データ・試料管理委員会
- 国際委員会（新設）

また、従来のHLA委員会は支援機関（日本赤十字社）に移行することとなり、これまでのHLA相談窓口は医療委員会が引き継ぎます。回答者には今後もHLAに詳しい担当者が加わります。ご利用の場合は、当法人ホームページ＞医師の方へ＞HLAに関する相談・窓口をご覧ください。（※4月から「主治医相談窓口」に名称変更）

なお、ドナー安全委員会、倫理委員会の位置づけはこれまでと変わりません。

5 第36回日本造血細胞移植学会総会が開催

3月7日（金）～9日（日）の3日間にわたり、沖縄県宜野湾市で「第36回日本造血細胞移植学会総会」が開催されました。日本骨髄バンクも「骨髄バンク・さい帯血バンク合同報告会」、「地区代表協力医師会議」を併催したほか、広報ブースを設置して来場者にパンフレット配布等を行いました。また、最終日の市民公開講座では、沖縄県の医師やボランティアの方、コーディネーターなどが講演されました。

なお、第37回学会総会は2015年3月5日（木）～7日（土）、兵庫県神戸市で開催されます。

6 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は74施設です。

◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

- ・採取施設
九州厚生年金病院
- ・移植診療科
同左 内科

- ・採取施設
愛知県厚生農業協同組合連合会江南厚生病院

造血幹細胞測定体制が確認できましたので、採取施設認定の留保が解除となりました。

新規認定施設については、当法人ホームページ＞患者さんへ＞移植認定病院およびドナー登録されている方へ＞面談施設一覧でもご覧いただけます。

7 骨髄ドナー手術給付金申請の専用証明書について（損保ジャパンD | Y生命）

休業補償がないドナーへの経済的支援と社会貢献の見地から、現在15社の生命保険・損害保険各社、共済互助会がドナー給付金を支払う個人保険を販売しています。申請にあたっては、ドナー 2

ご本人が採取施設発行の診断書を取得していただく必要があり、時間・金銭両面での負担を伴って
 いました。

このたび、損保ジャパンD I Y生命保険株式会社の商品において、当法人発行の専門証明書のみ
 で手続きが可能となりました（プルデンシャル生命保険株式会社、日本生命保険相互会社に続いて
 3社目）。ドナー手術給付金のための専用証明書の発行をドナーご本人が希望される場合は、コー
 ディネーターから地区事務局経由でドナーコーディネート部にご連絡ください。

8 当法人の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
第4回通常理事会	公開・一部非公開	3月20日（木）17:30～ 廣瀬第1ビル2階会議室
倫理委員会	非公開	3月28日（金）16:00～ 廣瀬第2ビル地下会議室
臨時評議員会	公開・一部非公開	3月31日（月）15:00～ 廣瀬第2ビル地下会議室
医療委員会	公開・一部非公開	4月5日（土）13:00～ 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

9 検体保存事業の検体量変更について＜医師の方へ＞

このたび、検体の保存形態の変更に伴い採血量ならびに採血管が変更となります。概略は以下のと
 りですが、詳細は別紙「検体保存事業における採血量の変更について」をご参照ください。なお、患者
 さん・ドナーさんへの説明書中の血液検体量は、15ml から7ml へ変更となります。

- 保存検体：バフィーコート / DNA / 血しょう（新規）
- 採血量：7 ml × 1本
- 開始時期：4月1日以降、骨髄バンクから発送したものからご対応ください

10 健康上の確認について（注意喚起）＜コーディネーターの方へ＞

前処置開始後にドナーの妊娠が疑われる事例が発生しました。妊娠が判明した場合、ドナーおよ
 び胎児の健康と安全のため、骨髄採取ならびに末梢血幹細胞採取は中止せざるを得ません。

ドナーの方に対して、骨髄等採取終了までは妊娠を控えていただくよう、再度徹底してくださ
 い。

11 骨髄バンク・さい帯血バンク合同報告会について<医師の方へ>

第 36 回日本造血細胞移植学会総会の会期中の 3 月 8 日（土）に「骨髄バンク・さい帯血バンク合同報告会」を開催し、認定施設の先生方や調整医師、HCTC、関係者など約 200 人が参加しました。欠席された先生方には同報告会の資料をお送りしますので、下記の内容について資料（冊子）をご確認くださいようお願いします。なお、この通知文書は、当法人ホームページ> 医師の方へ> 医師宛通知文でもご覧いただけます。

○使用されなかった造血幹細胞およびドナーリンパ球に関する事例報告（資料 37 ページ）

○提供された骨髄等の細胞数が少なかった場合の対応について（再確認）（資料 38 ページ）

<概要> 骨髄バンクでは、提供された骨髄の有核細胞数やP B S CのC D 34 陽性細胞が少なかったとしても必ず移植するということを基本方針としています。

○移植完了報告書に記載いただく「移植日」について（資料 39 ページ）

<概要> 「移植日」の定義を以下のようにしました。

①骨髄移植の場合

日にちをまたいだ場合は、2 日目（移植完了時）を移植日とする。

②末梢血幹細胞移植の場合

2 日間にわたった場合、2 日目を移植日とする。

12 地区代表協力医師会議開催報告

第 36 回日本造血細胞移植学会総会の会期中の 3 月 8 日（土）に地区代表協力医師会議を開催しました。

同会議には、齋藤理事長、小寺副理事長、加藤理事、および 17 名の地区代表協力医師の先生方にご出席いただき、ドナー適格性判定に関する相談例の報告、採取事例に関する検討や意見交換を行いました。

13 一般社団法人 日本造血細胞移植データセンター（JDCHCT）からの第二世代 TRUMP 試験運用アナウンス <医師の方へ>

第二世代 TRUMP は、平成 27 年度台帳登録からの本稼働に向けて、試験運用（3 月 1 日～6 月 30 日）を行っています。また、秋ごろには操作説明会を予定しています。是非ご参加ください。詳細は別紙「次世代移植登録一元管理プログラム TRUMP 2」をご参照ください。

14 委嘱状発行のお知らせ<調整医師の方へ>

先生方には、ご多忙中にもかかわらず調整医師委嘱更新書類をご返送いただきありがとうございます。3 月下旬より、順次委嘱状をお送りします。今後とも骨髄バンク事業へご協力のほどよろしく申し上げます。